

園長だより

二十四号三十一年四月
竹鼻保育園
園長 川出昭順

竹鼻保育園の保育目標

竹鼻保育園の保育目標についてお話しさせていただきます。保育理念は「ともに生き、ともに育ち合う保育」です。「ともに」という言葉に一人で大きくなるのではなく、ご両親、ご家族の方々、そして、保育士など多くの人とともに育つのだよということ。保育士との関わりが大きいのですが、何にも知らない子どもたちを教える姿勢でなく、保育士も子どもたちと一緒に目の線から教えられるのだよ、ということ。この言葉に込めて「ほうおんかんしや報恩感謝の心をもって心身ともに豊かな子を育てる」



藤祭の練習、見に来てね もも組のクラスだより

となっておりますが、感謝できる子を育てるということなく、保育士自身が報恩感謝の心をもって保育するのだということを表し、そのことが自然と子どもに伝わっていくことを願うものです。

先日、羽島新報さんから原稿を依頼されました。そこには、保育園の目指すもの、またどんな子に育ってほしいかなどの質問でした。

質問1 各園の特徴及び力を入れていることはなんですか？

竹鼻保育園では、裸足はだしでどろんこになり、大地を感じていくことに力を入れていきたいです。土の感触、土の臭い、草の感触、臭い、集まる虫、さらに井戸を掘りポンプで遊ぶ。水路、ビオトープを作り、魚などの生態を見る、またつかみ取りをして自然のエネルギーを感じ取る。大地に根ざした情操を育てることにより、一生を通じて残っていく心が育まれていくのではないかと。バーチャルでない現実の感触を味わい、人間の本能に目覚め、更にコントロールできる子を育ててはならないと考えます。まさに仏教から教えられる幼児教育です。このビオトープなどは今年10月頃完成予定です。

(中略)

質問5 子ども達が将来どんな大人に育って欲しいですか？

今日園児の置かれている環境は、どんどんバーチャル化し、何が現実なのか分からなくなってきました。このような中でどのような子が育つのか。またいい高校、

いい大学を目指すことにより、他との比較、評価にさらされ、その結果、今の高校生の七割以上が自分を否定的に捉えているという。これは教育の大問題です。頭が良くなり、世界に通用する能力開発しか考えていない現代日本を表しているのではないのでしょうか。それについていけないものを負け組という訳です。これは違うのではないか、一人一人の人間は能力で差別されるものではない、いのちそのものが尊いという教育が全く為されていないために、起こってくる問題なのです。

三つ子の魂百までと言いますが、保育園時代の重要性を語っています。親さん以上に長い時間、園児と接する保育士は重大な任務を背負っています。保育園の先生に会いたいなあというところに自然と保育士との信頼が育ってきます。そこに保育士から大切にされ、自己肯定できる心が育つわけです。もし、その時代に育たなかったら、一生涯、人を信ずることができなくなり、その結果、非行・引き籠もりなどの要因になるかも知れません。

質問5の問題が一番大きいと思いますが、戦後アメリカの追従じゆうをしている日本は、アメリカが何に困っているのかを見たとき、今後の日本の未来が見えてくるのではないか。アメリカの7、8人の大金持ちの財産と30億人の財産が同じだそうです。これは極端な話ですが、駄目人間とレツテルが貼られてしまうと、そこから逃れることができなくなる。恐ろしいのは麻薬です。有名人が逮捕されて話題になっていきますが、自信を無くした人、自暴自棄の人などが薬に頼っていく。もう現にそうになっているかも知れません。欲望にブレーキがかからない、そのことは犯罪の増加に繋がります。

このような日本は誰も望んでいません。しかし、間違いなくそうなっていくでしょう。保育園の子どもたち、素直でたくましく、のびのびと育っています。自分の人生を否定的に捉とらえるようなことはあつてならないと我々は考えます。そのヒントを長野県に見ます。

長野県の保育園幼稚園では「信州やまほいく認定制度」というのがあり、「豊かな自然と温かな地域の中で、子どもたちの人生の根っこを育はみまます」ということをやっておるそうです。できるだけ自然の中で保育するということに興味です。バーチャルでない現実におき、遊ぶことによつて、将来自立した人生が育まれていくとの保育方針です。昔から長野県は教育県として有名なのですが、保育園時代に何をしなくてはならないのかを、このような形で行っているのです。パンフレットの中に「外で遊んでばかりでは、小学校の学習についていけないのではないですか？」それに対して「子どもが幼児期からたくさん遊びを通じて様々な体験を重ね、自らの興味関心を高めることと、達成感や他者への信頼感といった感情面を十分に育むことが大切であり、それが小学校での学習能力や表現を高める基礎となると考えます」と答えられています。

世界のニュースを見ると、悲惨な生活を強いられる人々があふれています。難民、移民となり豊かな国を目指して移動している。日本へ来たい人も多い、そんな恵まれた国の子どもたちは少しも幸せと思っていない、高校生の意識調査が語っています。どこかおかしと思わざるを得ません。私は「自然」という言葉がキーワードのような気がします。